



2026年6月23日

各 位

会 社 名 株式会社システムサポートホールディングス
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 小清水 良次
(コード番号：4396 東証プライム)
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 本 部 長 森田 直幸
電 話 (0 7 6) - 2 1 3 - 5 1 6 1

**連結子会社システムサポートがダイゾーの人事業務を
ServiceNow HRSD で標準化・可視化のお知らせ**

当社の連結子会社である株式会社システムサポートが、下記プレスリリースを行いましたのでお知らせいたします。

記

システムサポート、ダイゾーの人事業務を ServiceNow HRSD で標準化・可視化
各種人事申請の窓口を統一し、業務フローを再設計・構築

詳細につきましては、次ページ以降のプレスリリースをご参照ください。

なお、本件が当社の2026年6月期の連結業績に与える影響については軽微であると見込んでおります。

以 上

各位

2026年6月23日
株式会社システムサポート

システムサポート、ダイゾーの人事業務を ServiceNow HRSD で標準化・可視化 各種人事申請の窓口を統一し、業務フローを再設計・構築

株式会社システムサポート（本社：石川県金沢市、代表取締役社長：東 祥貴、以下 STS）は、株式会社ダイゾー（本社：大阪市港区、代表取締役社長：南 宣之、以下 ダイゾー）が推進するビジネス変革の一環として、クラウド型 AI プラットフォーム「ServiceNow」の HR サービスデリバリー（HRSD）分野の導入を支援しました。

本プロジェクトでは、HRSD の「ライフサイクルイベント」機能を活用し、各種人事申請の窓口を ServiceNow へ統一するとともに、申請から完了までの業務フローを再設計・構築しました。これにより、事業部ごとに分散していた申請手続きや従業員データ管理の標準化、業務進捗の可視化を実現し、全社的な人事申請業務の効率化と生産性向上に貢献しています。

■ServiceNow 導入の背景・目的

人事申請業務は、多様な従業員データの管理および活用が求められると同時に、高い正確性が求められる定型業務も多いことから、属人化が進みやすい傾向があります。このため、本質的な業務効率化を図るには、ツール導入だけでなく業務フローの整理や標準化が重要な課題となっています。

ダイゾーでは従来、社内ポータルおよび業務管理を「Notes」で行っていましたが、保守面での課題から将来にわたって安定的に運用可能な基盤への刷新が急務となっていました。特に人事申請業務については、事業部ごとに Notes と紙の書類を併用するなど運用方法が異なり、業務フローの可視化や手順の整備が不十分であったことから、個々の担当者の知識に依存した「運用の属人化」が課題でした。

こうした状況を踏まえ、同社は人事申請窓口の一元化と申請業務フローの標準化を目的に、一過性の対応ではなく長期的かつ安定したグローバル基準のサービス導入を検討しました。その結果、あらかじめ用意されたデータ構造やテンプレートを活用できる堅牢な標準基盤と、ノーコード・ローコードによる柔軟な開発環境を備えている点が、今後の全社 DX を見据えたプラットフォームとして最適だと判断し、ServiceNow の採用を決定しました。導入にあたっては、双方の成長を志向する共創型パートナーシップへの姿勢が評価され、STS が導入支援パートナーとして選定されました。

■ STS における ServiceNow 導入支援の内容

STS は、「ServiceNow の標準機能の最大活用」と「ユーザーにとっての使いやすさの追求」を基本方針として、本プロジェクトを推進しました。ダイゾーと緊密にコミュニケーションをとり、設計段階から現場の要件を反映することで、業務との整合性を確保し、円滑な運用を可能とする仕組みを構築しました。

主な対応内容は以下の通りです。

- ・ ServiceNow HRSD の「ライフサイクルイベント」機能を活用した申請業務フローの構築
- ・ 各申請における必要手続きをタスク単位で整理・一覧化し、申請から完了までの流れを可視化

本プロジェクトの対象申請：産前産後休業、育児休業、出生時育児休業（産後パパ育休）、介護休業、結婚、離婚、入社、退社

■ ServiceNow 導入後の主な効果

- **申請プロセスの統一**
事業部ごとに異なっていた申請ルールの標準化により、人事手続きの全社的な平準化が進んだ。
- **属人化の解消**
作業をタスクとして細分化・明確化したことで、特定の担当者への依存を低減し、チーム全体で業務を遂行できる体制が整った。
- **進捗管理の高度化**
申請状況の可視化により、業務の停滞箇所がリアルタイムに把握可能となり、ボトルネックの早期解消が可能になった。

本導入事例に関する詳細はこちらの記事をご覧ください。

STS 公式サイト「ServiceNow 導入事例：株式会社ダイゾー様」ページ

» <https://www.sts-inc.co.jp/casestudies/3446/>

今後ダイゾーでは、HRSD 分野にとどまらず、同社の小型 EV 事業「e-Neo」における CSM (Customer Service Management) 分野への ServiceNow 活用拡大も検討しています。

STS は今後も、継続的な運用支援と業務改革の推進を通じて、ダイゾーの DX を強力に支援してまいります。

●STIS の提供する ServiceNow 導入支援について

STIS は 2015 年より、10 年以上にわたり数多くの導入支援を手掛けてまいりました。プロセスコンサルティングから導入、テクニカルサポートまで、包括的なプロフェッショナルサービスを提供しています。高品質なサービスを継続的に提供するため、エンジニア育成にも注力し、ServiceNow 認定資格取得数は国内トップクラスを誇ります。この豊富な経験と確かな技術力で、お客様の多様なニーズに対して、ビジネスの継続的な成長を強かに支援します。

また、豊富な経験を凝縮し、スモールスタート&クイックインにフォーカスした導入テンプレート「Supportas Plus」も展開中です。

「お客様と共に未来を創る」を理念に掲げ、課題解決にとどまらず、その先の新しい価値創造を目指し、柔軟な発想で、業界や規模を問わず、あらゆるお客様にとって信頼される長期的なパートナーであり続けます。

STIS の提供する「ServiceNow 導入支援」

» <https://www.stis-inc.co.jp/servicenow/>

STIS の提供する ServiceNow オフアリングサービス「Supportas Plus」

» https://www.stis-inc.co.jp/products/product_supportas-plus.html

●株式会社ダイゾーについて

1936 年に「大阪造船所」として創業。バルクキャリア建造で培った高度な造船技術の DNA を受け継ぎ、現在は子会社の大島造船所とも連携しながら、造船事業部ではタグボートの製造を手掛けています。さらに、ものづくりへの情熱を礎に多角的な事業を展開しており、国内パイオニアであるエアゾール事業（OEM）、大手自動車メーカーをはじめ産業界を支えるニチモリ事業部（特殊潤滑剤）、都市インフラを担う陸機事業部（駐輪設備）を展開しています。近年では次世代の小型 3 輪 EV「e-Neo」の開発・販売など、確かな歴史を守りながら、先進技術で社会に貢献する総合製造業です。

所在地 : 〒552-0013 大阪市港区福崎 3 丁目 1 番 201 号

代表 : 代表取締役会長兼社長 南 宣之

URL : <https://www.daizo.co.jp/>

●株式会社システムサポートについて

IT システムの企画から開発、運用・保守をワンストップで提供。データベースやクラウド基盤、ERP パッケージなどの分野での技術力を強みとしています。オリジナルパッケージとしては、建て役者（建

築業向け工事情報管理システム) や SHIFTEE (クラウド型シフト管理システム)、就業役者 (勤怠・作業管理システム) を開発・販売。お客様の ICT 環境を支援するサービスを幅広い業界で提供しています。

所在地 : 〒920-0853 石川県金沢市本町 1-5-2 リファール 9F

代表 : 代表取締役社長 東 祥貴

URL : <https://www.sts-inc.co.jp>

本件に関する報道関係者のお問い合わせ先

株式会社システムサポート

経営企画部 城 (きずき)

TEL: 076-265-5151

※ServiceNow、ServiceNow ロゴ、Now、およびその他の ServiceNow マークは、米国およびその他の国における ServiceNow, Inc. の商標または登録商標です。その他の会社名、製品名、およびロゴは、関連する各会社の商標である場合があります。